

FOR ADULT ONLY

R.P.R138TH BOOK







階段でケンカして  
落っこちて  
両腕の骨を折る〜？

見舞いの  
第一声が  
それかよ!?



しかしあんたも  
ドンくさい男ねえ



…いや  
何でもねえ



だいたい  
こうなった原因  
だってなあ…



うっせー  
二度と来んな!

知ってるわよ  
私を階段下から  
盗撮しようとした連中と  
ケンカした結果だって

それを言わない  
優しさも…ね



ふんっ  
また来てあげるから  
それ以上怪我して  
バカにならないことね



なんで私  
素直になれないんだらう





ちくしょう  
昨日はあいつ  
好き勝手  
言いやがって…

うっ  
イライラしてたら  
何だか…

…誰も  
来ないよな？

二日続けて  
見舞いに来るなんて  
ちよっと変かなあ…

コホン  
来てやった  
わよ



ななななな  
何やつて  
んのよ!?!?

ちよつ…  
うわああつ!!

本当に最低ね!  
カス! 変態!  
ケタモノ!

そこまで言うか…



しまった!  
ちよつ!  
ちよつ!  
ちよつ!



し 仕方がねえんだよ  
男つてのは2、3日に  
一度はその…

…仕方ないわね

あんたの怪我は  
私にも責任が  
あるしね

ちよつ…  
何やつて  
んだと…?







責任をこころ  
あんなのせいで  
性処理を……

責任とこころ  
あんなのせいで……  
性処理を……!



擦れは  
いいんでしょ

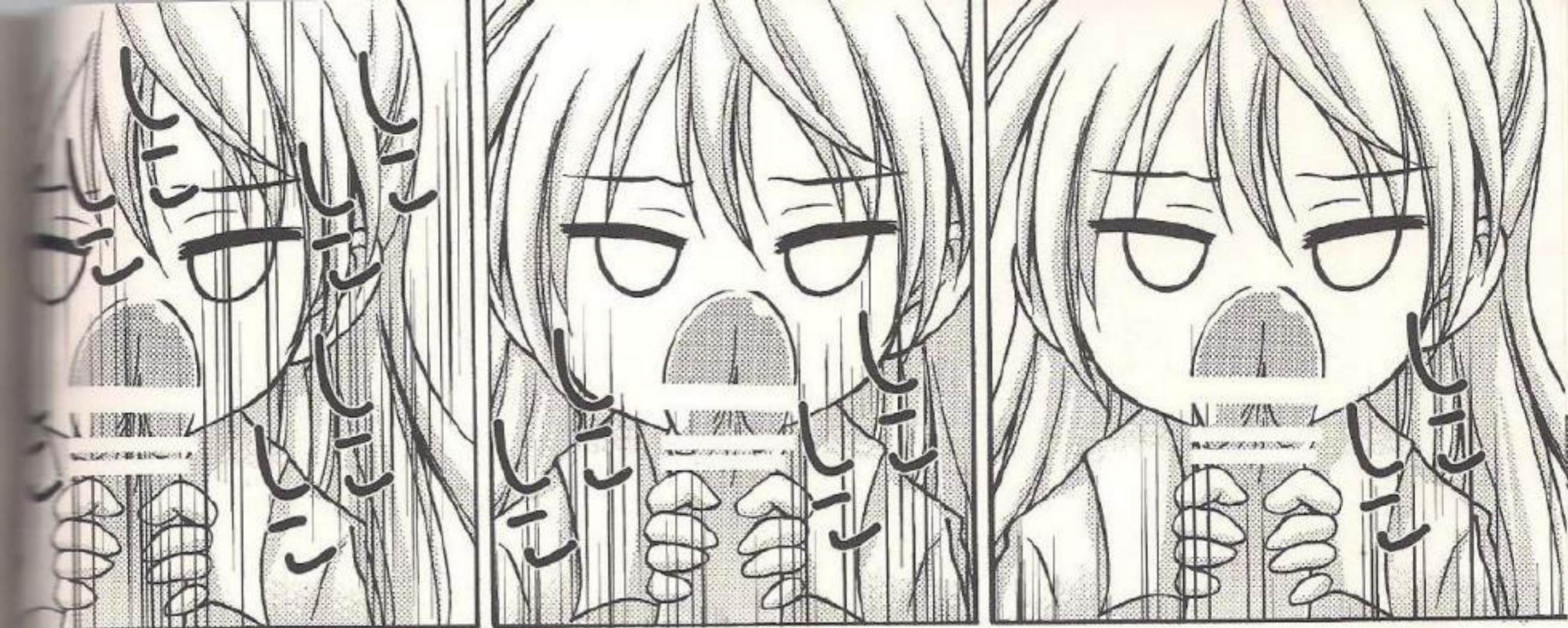


本気の  
こつこれを……



は……ってんだ!  
何故なのか!?





やっばい  
胸なわけ？  
このサレ！

なんで  
そくなる!?



早く  
出しなさい  
よ!!

無茶  
言うなよ!!



んっ…



おおい  
桐崎…?

うおっ  
すげえ柔らかい！  
でも俺には  
小野寺が…！





おいっ  
やめろっ...



なによ!  
あんたが胸じゃないと  
ダメだっつこいっから!



なにこいっ!!



まじで  
サレちんだから...



おおおっ!!!



んんっ!



おおい  
そんない...





うっ  
すまん…  
あ  
あ

私の顔に  
ぶっかけるのは  
いい度胸ね  
あよ

私でも  
ちやんと感じて  
くれるんだ…

…って  
何でまだ  
元気なのよ!?



ホントにこのヒロザルは...

し仕方ないだろ！  
ずっと溜まって...

すっ

...わかったわよ

え？  
何が？

気の済むまで  
出せば？  
最後まで  
付き合おうわよ

はあ!?

しゅ

動かないでよ  
うまく入らな...  
んっ！

おいおいおい!!!



おまつ  
本気で……!?

めめめ…めめめ

待て待て待て待てっ!!

んっ…  
くっくっ!

あ  
あ





お前  
まさか  
初めて...!?

痛い...  
あー

あー



当然でしょ!  
私はそんな軽い女  
じゃないわよ!

だったら  
なんで  
俺と...?



それは...!  
いいからさっさと  
出なさいよ!



こいつは何を  
考えてんだ？  
サッパリ分かんねー！

それより俺には  
小野寺という  
心に決めた人が  
いるのに……！

それなのに……！

きゅん

きゅん

うっ！  
気持ち  
良すぎる……!!!

お前  
辛いんだったら  
もうやめ……

うるさいっ！  
それよいあんた  
ごうなのよ!?

気持ち良  
くないの!?

そりゃ  
気持ち良い  
けど……

アキ

ズキ

ズキ

アキ





本っ当に  
わかんねえ！  
でも胸もあそこも  
気持ち良すぎて  
もう…もう…！！



だったらもっつこ  
ガッ付きなさい  
よ！

何言って…  
ムゲゲ！



もう  
どうにでも  
なれ！





な何ゆっ  
急にやる気  
出して……!

お前が  
始めたんだろ!

今さら  
やめるとか  
言うなよ

い  
言わないわよ  
……っ!

あ  
あ  
あ



ぐわん

びん

あ  
あ  
あ





あぁっ  
も...もう  
ダメエ!!

ぬるぬる  
うん

あ...  
びゅんびゅん

あぁぁぁ

うん  
うん





なあ  
何でこんな事  
したんだよ？



しんん

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー



そんな  
目をしてる  
男は初めて...



大嫌いだからよー！



千棘の魅力は  
時間経過式正統派ツンデレと  
金髪ロングと  
黒ニーソですねっ！







わわっ……一条君が布団の中にッ……



何お前……先に寝ちゃったわけ？



たっくそんなに眠かったら家に帰って寝りゃ良かったのに……



……あれ？

お前まさか制服のまま寝てんの？



——千棘——

「そう」  
一条君は今  
布団の中にいるのは  
千棘ちゃんだと  
思っている……





るりちゃん  
三人の定期デートを  
つけることになっ  
ただけけど...



最近 一条君と千棘ちゃんは  
以前にも増して親密になつていた...



私だけ一条君の  
家の人に見つかり  
お客どしで  
家上げられて  
しまったの!



10分だけ日本による?  
分かったすぐ行くわッ!!



えっ  
ママが帰ってくるの!?

廊下で千棘ちゃんの  
話声が聞こえた!



残された私はいけないと  
分かっていても...  
一条君の部屋を覗いて  
しまったの...



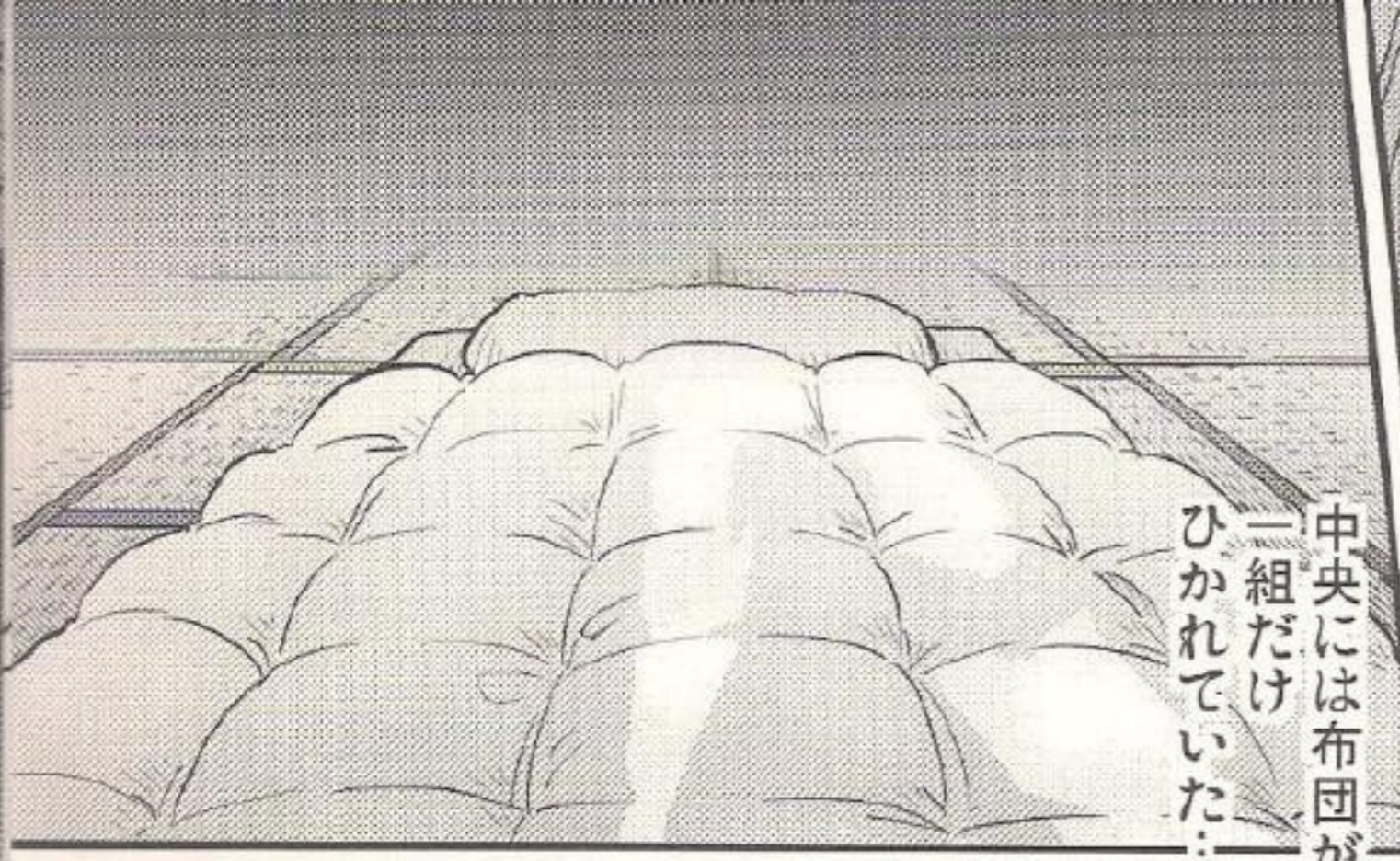
まいつか後で説明すれば!

あーもう楽の奴...  
いつまでシャワー浴びてんのよ!



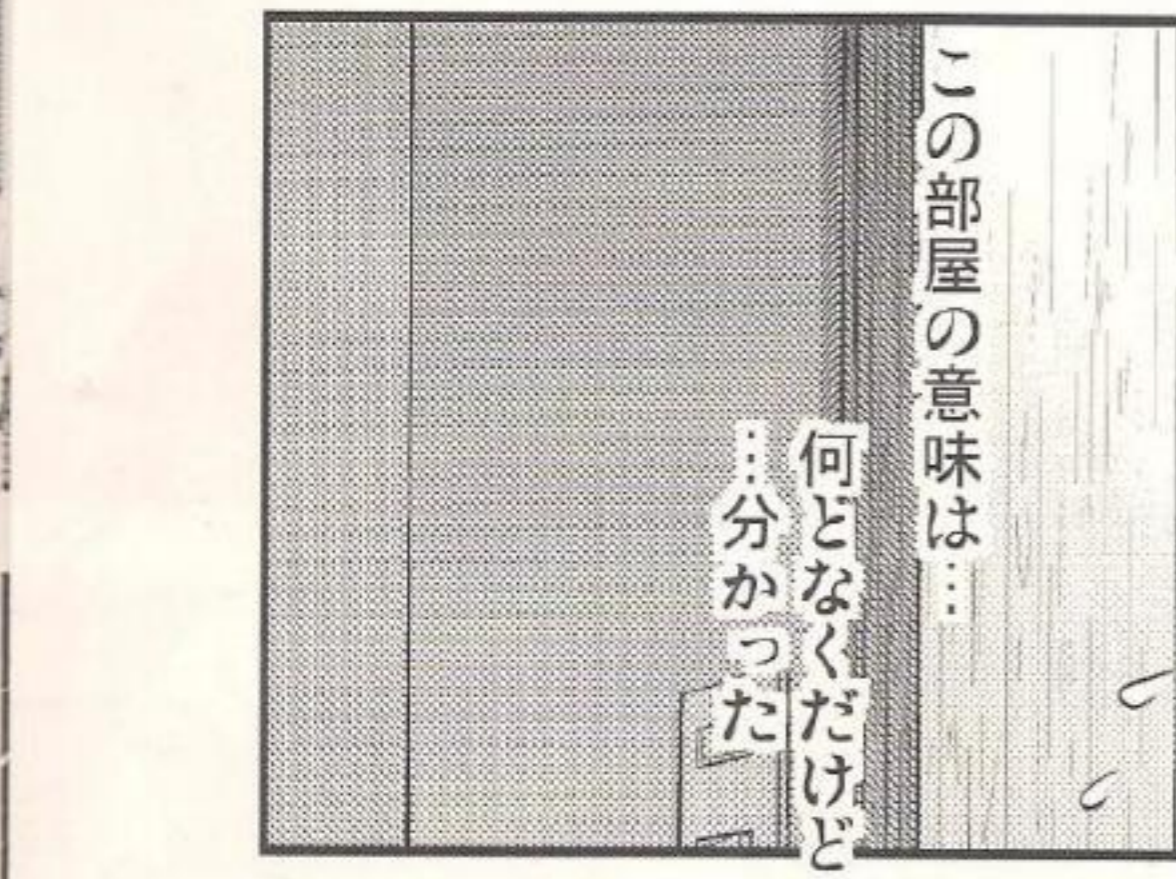
そこはなぜか  
雨戸を閉め切った  
真っ暗な部屋で…

中央には布団が  
一組だけ  
ひかれていた…



この部屋の意味は…

何となくだけど  
…分かった



千棘〜シャワー  
空いたぞ〜!?

ギシギシ

悲しいのど  
パニックになったのどで

私は有り得ない行動を…



千棘〜?

…よりもよって

隠れちゃった…

―布団の中に







制服  
こわになるし...

脱がねーと汚れるぞ？

っはあ

すり

「あんなに甘く感じるのは初めて...」  
「あんなに甘く感じるのは初めて...」



この匂い...

シャンプー  
変えたか？

あっ

「一条君の息が耳元で...」

いつもより甘い匂い  
どこかで嗅いだような...

家の...





一条君とキスしちゃった  
どうしよう私…

ちゃんと事情を説明しないと…

うっ

うっ…



まいったか!

!?



今だ!

今言わないと…

まさか今度は  
盗聴器かよ!?



…起きてんだろ?

何で黙ってんの?



カメラって何?

それって犯罪じゃ?

カメラを見つけた時は  
焦ったよなー!  
こうして暗く  
しちまえば  
こういうこととしても  
撮られる心配はねーけど…  
お前ん所のクロードは  
何でもするからなー

とっつ! 盗聴器ツ!?



!?





いどうしよう!!

んっ

んっ  
んっ



今更私は千棘ちゃんじゃないなんて言えないよ...

ふっ

びびり

びびり

はあ

はあ

千棘...  
ほら...

カキカキ  
カキ



何だろら

全然見えないけど...  
一条君の足があうて...

えっ...  
これって一条君のツ

さゆっ

口で頼む





だめッ…

もう十分に取り返しが  
つかないのに

そんなことしたら私はもう…

おっ…何だよ?

また嫌だっけ言うのか?



頼むよ

このまま  
入れたりしたら

中に出しちゃったり  
するぞ?

ああ…

ほっぺに硬いのが…



熱気がすごい…

頭が…真っ白になる…  
こんなの…おかしいのよ…

んっ







はあ

はあ

しゅん

はあ

いん



私こんな所で何してるんだらう...

千棘ちゃんにも「一条君にも悪いよ」こんななの...

うあ...

んん

んん

んん



はあ

ん...

しゅん

いん



一条君が... 気持ちよくなってる?



...舌の感触が  
すごくいい

そんな舐め方  
初めてだな...

はあ

はあ



千棘...

お前舐めるの  
上手くなった?

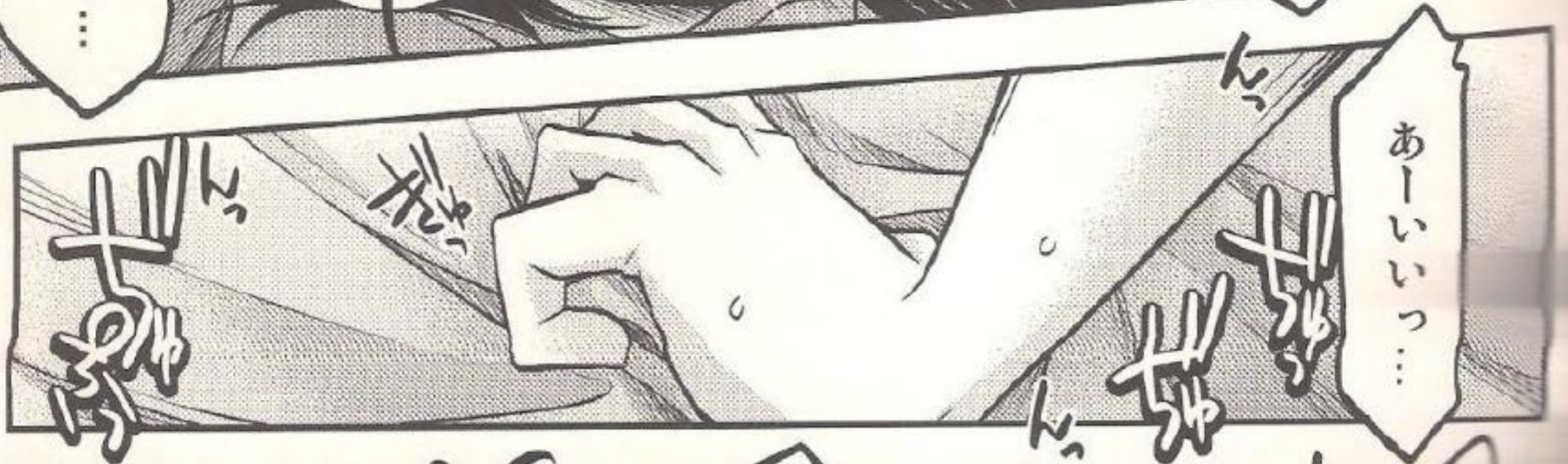


もっと  
気持ち良く  
させたいな...

しゅん



そっか…  
一条君は今  
千棘ちゃんに  
舐められてると  
思ってるん  
だよね…







うあああっ!?!—

んっ…  
ふっ…



ぬるぬる

ぬるぬる

ふっ—



日一条君の

飲んじやつた

んっ



はあ

はあ

はあ





このまま黙っていれば私…

一条君と…

千棘…

お前ちよっと  
太った？



ああいや…いつもより  
柔らかくて

俺はこれぐらいのほうが  
好きって…いうか…

こうして  
触れてるだけで…



…気持ち良い

それじゃ

…入れるぞ？





うあ…  
ああっ…

もうだめ…  
一条君への気持ち  
止められないツッ!

ぐわ

びくびく

ぐわ

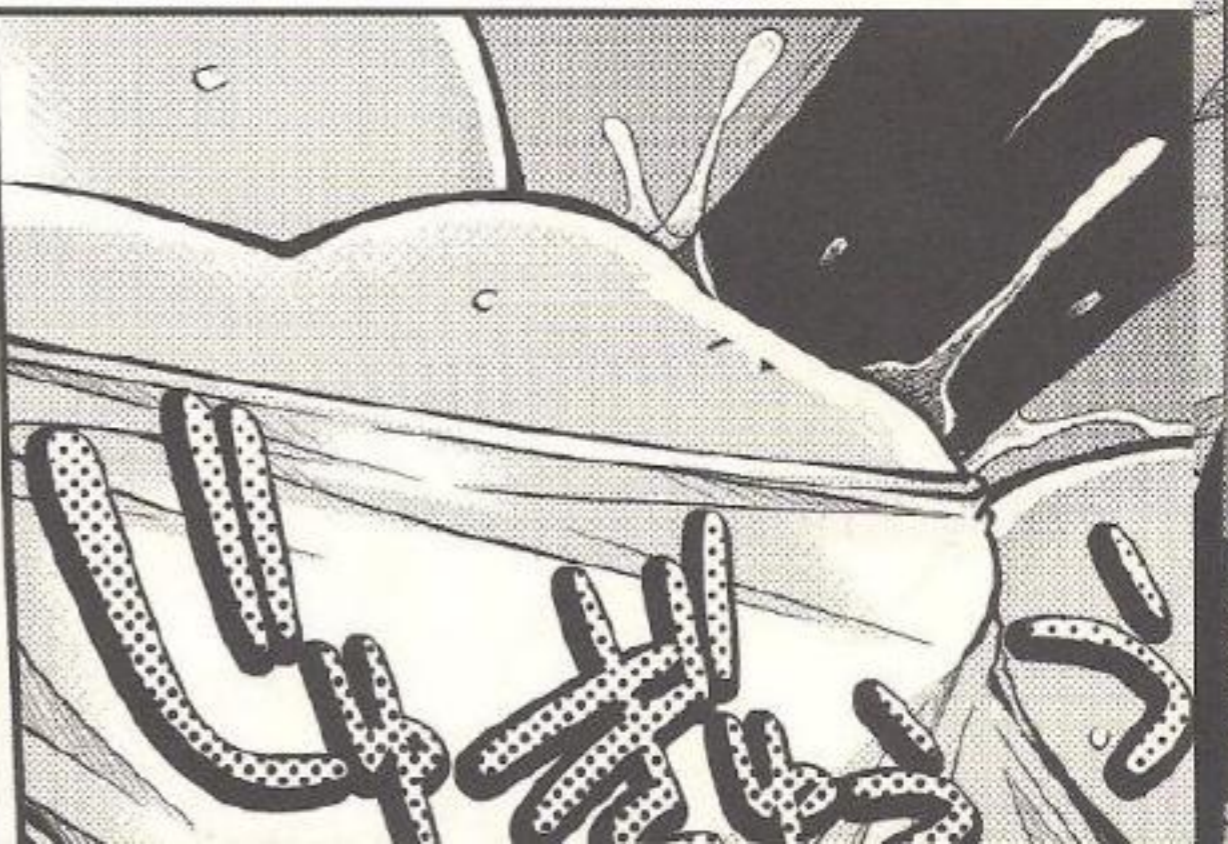


んっ

一条君のおちんちんが…はいつで…くる



ぐわ



ぐわ

っはー





アッ

あっ

ふあ

アッ



アッ

ああっ

だめっ...

あんっ



んっ

んっ

声が出ちやうツッ!!!

—気持ち良い...

アッ

アッ





イツちやううらツツ!?

ビクッ

ビクッ

?

ビクッ

ビクッ

っんあ……あーツツ!?

だめっ……まだ私……

ビクッ

あっ

ん

ビクッ

あーッ





もうイッてるのいっ...

んっ...

ふっ

ジュッ



んっ

んっ...

んっ



もう  
我慢できないッ...

あっ...  
あっ

いっ一条くっ...

いっ...ああッ





ひゃああああッ...!?

イツちゃっああ...

あ...あ

あっ

ビクッ

ビクッ

はあ

あ

V

X

あ

あ

あ





「条君も…」

はあ

イッてるのかな…

はあ

ドク

ドク

ドクドク

ドク

ドク



腔内なかに出されちゃった…

小野寺小咲おののこさきとしてたやなくて

腔内なかに出されちゃった…

いっしょ

ドク

ドク

ドクドク

ドク









# あとがき

というわけで唯一苦手な食べ物が  
こんにゃくな  
小野寺さんを描きました。

実はこの原稿が完成するまでに  
約24Pほど  
ページ単体としては完成状態にあるが  
話が續かずに断念した四本の  
漫画がありました。

一本は千棘の話

5Pほど描いて断念

理由はやくざが出張りすぎ

一本は万理花メインの話

7Pほど描いて断念

理由は万理花が出張りすぎ

一本は誠士郎の話

4Pで完成でしたが

前回よりも前に描いた物で

時間を置いてしまったために

絵が見れたものではなく

そのまま亡き物に…

絵もアレですが

理由はクロードが出張りすぎ

そして小野寺の話を

8Pほど描いたが気にいらず

途中でこの話にチェンジ…

理由はるりちゃん出張りすぎ

当たり前の話ですが

ちゃんと話を完成させてから

ペン入れしていれば

いだけなんです…

出張らない小野寺さんのおかげで  
ようやく完成しました！

ありがとう小野寺さん

作saku

